ウィルマー・インターナショナル(WLIL)

「生活に必要不可欠な生産者」として事業継続、経済活動再開と中国の飼育豚数増加が更なる追い風へ

シンガポール | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG WIL:SP | REUTERS WLIL.SI

- 2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比4.6%増、EBITDAが同 9.6%増。純利益は同12.7%減だったが、コア純利益では同22.5%増。
- 世界的な移動禁止措置の影響で家庭向けの消費者向け製品は堅調に 推移したが、バラ包装製品は需要減少の影響を受けた。
- 「生活に必要不可欠な生産者」として事業を継続できる安定性に加え、経済活動再開や中国の飼育豚数増による追い風が期待される。

What is the news?

5/11発表の2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比4.6%増の109.20億USD、EBITDAが同9.6%増の7.07億USD、純利益が同12.7%減の2.24億USD。非継続事業の利益や営業外項目、および生物資産に係る公正価値の変動を除くコア純利益では同22.5%増の3.06億USDであり、株式市場の低迷による投資有価証券に係る値洗い損失が純利益減益の主な要因となった。ホテル・レストラン・ケータリング事業が新型コロナウイルス流行に伴う都市封鎖による需要減の影響を受けたものの、中国における消費者向け製品やパーム油などのトロピカルオイル製造・販売が堅調に推移したことが業績に寄与した。

事業セグメント別の販売数量は以下の通り。①食料製品部門は、消費者向け製品が前年同期比34.8%増の285.5万トン、バラ包装製品が同20.0%減の331.5万トン。世界的な移動禁止措置の影響で家庭向けの米や小麦粉、調理用油の需要が急増した一方、バラ包装製品はホテル・レストラン・ケータリング向け需要減の影響を受けた。②飼料および産業向け製品部門は、プランテーションを営むトロピカルオイル事業が同9.9%減の523.7万トン、油料種子・穀物加工事業が同17.3%増の428万トン、製糖事業が同3.0%減の208.2万トン。中国でアフリカ豚熱の流行が下火となったことが油量種子・穀物加工事業の販売数量増加に貢献した。

How do we view this?

同社は食料および非食料の両方で「生活に必要不可欠な生産者」のカテゴリーに分類されて事業を継続できたことから新型コロナウイルス流行の影響は軽微だった。今後は経済活動再開に伴い、ホテル・レストラン・ケータリング事業が2Q(4-6月)以降に改善に向かうと見込まれるほか、中国おける豚の飼育数増加に伴う飼料事業の回復も期待されよう。その一方、パーム油や砂糖の国際相場下落によるプランテーションなどの上流工程の収益への影響が懸念されるが、その分は、製品の製造・販売など下流工程におけるコスト減少および利益率上昇により吸収されよう。その他にも、中国市場における株式上場案件が2020/12期の下半期に承認される見通しである点が注目される。2020/12通期の市場予想は、売上高が前期比8.4%増の46.20億USD、当期利益が同7.5%減の11.96億USD。

業績推移

※参考レート 1USD=108.43円、1SGD=0.7205USD

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	43,573	44,497	42,640	46,204	49,969
当期利益(百万USD)	1,195	1,125	1,293	1,196	1,355
EPS(USD)	0.18	0.17	0.20	0.19	0.21
PER(倍)	16.17	17.12	14.55	15.08	13.60
BPS(USD)	2.52	2.54	2.64	2.77	2.89
PBR(倍)	1.16	1.15	1.10	1.05	1.01
配当(USD)	0.07	0.07	0.08	0.09	0.10
配当利回り(%)	1.25	1.25	1.43	1.61	1.78

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)



フィリップ証券株式会社

(※) 業績は米ドル (USD) 、株価はシンガポールドル (SGD) 表記

配当予想(USD) **0.09** (予想はBloomberg) 終値(SGD) **4.04** 2020/06/08

会补概要

1991年にシンガポールの富豪として有名なクーー族のクオック・クーホンとインドネシアの富豪マルチュア・シトラスにより設立。現在の筆頭株主は世界2大穀物メジャーの一角を占めるアーチャー・ダニエルズ・ミッドランド(ADM)である。アジアを代表するアグリビジネスグループで、油ヤシの栽培といったプランテーション農業やヤシ油・パーム油・パーム核油などのトロピカルオイル(熱帯油)を取り扱う「トロピカル事業」、油糧種子の搾油や食用油精製、油に係る消費者向け製品の製造・販売を行う「油料種子・穀物加工事業」、砂糖の製造のほか小麦の製粉・精米なども手掛ける「製糖事業」のほか、消費者向け製品やバラ包装製品を扱う食料製品部門を手掛ける。

また、中国市場で油料種子の搾油、製粉、精米の主要企業となっているほか、粗糖生産では世界のトップ10に入る。現在、世界に500ヵ所以上の製造拠点、および中国、インド、インドネシアなど約50ヵ国にわたる広範な物流ネットワークを展開。グループ全体の従業員は約9万人にのぼる。

企業データ (2020/6/9)

ベータ値 0.85 時価総額(百万SGD) 25,346 企業価値=EV(百万SGD) 51,568 3カ月平均売買代金(百万SGD) 28.4



主要株主 (2020/6) (%)
1.アーチャーダニエルズ・ミッドランド 24.79
2.KUOK BROTHERS SDN BHD 18.46
3.Kuok Khoon Hong 12.53

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

ウィルマー・インターナショナル(WLIL) 2020 年 6 月 9 日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元:フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: http://www.phillip.co.jp/

本レポートの作成者:公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>